

## 再 評 価 書

箇所名	一般県道一志出家線 (中川原橋)		事業名	道路事業	課 名	道路建設課 (津建設事務所)
事業概要	工 期 (下段前回)	H18年度～R9年度	全体事業費	3,810百万円 (負担率: 国 0.55 : 県 0.45)		
		H18年度～R3年度	(下段前回)	2,940百万円 (負担率: 国 0.55 : 県 0.45)		
<b>事 業 目 的 及 び 内 容</b>						
<p>■当該路線の概要</p> <p>一般県道一志出家線は、津市一志町田尻から津市庄田町字八王寺田に至る延長2.6kmの路線です。当該路線は、主要地方道久居美杉線と国道165号とを結ぶ道路であり、旧一志町中心部から旧久居市街地へのアクセスのために重要な道路です。</p> <p>当該事業区間は、道路幅が狭小ですが、小学校の児童や中学校の生徒が通学しており、道路の路肩を歩行している状況です。</p> <p>また、一級河川雲出川に架かる中川原橋は、幅員が狭小なため自転車や歩行者の通行は常時危険な状況にあり、大型車との対向にも支障をきたしています。さらに、当橋梁は、昭和31年に供用し、供用後約60年経過して老朽化が進んでいます。</p> <p>■事業目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・円滑な自動車交通の確保</li> <li>・歩行者の通行区間の確保</li> <li>・橋梁の老朽化対策</li> </ul> <p>■事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画期間 22年間 (平成18年度～令和9年度)</li> <li>・全体事業費 3,810百万円 (工事費: 3,534百万円, 用地費: 276百万円)</li> <li>・計画延長 L=1.3km (起点) 津市一志町高野～ (終点) 津市庄田町字八王寺田</li> <li>・幅 員 W=6.00m (9.75)m</li> <li>・主要構造物 橋梁 2橋</li> </ul>						
<b>事 業 主 体 の 再 評 価 結 果</b>						
<p>1 再評価を行った理由</p> <p>平成27年に再評価を実施後、一定期間(5年)が経過している事業であるため、三重県公共事業再評価実施要綱第2条(3)に基づき再評価を行いました。</p>						
<p>2 事業の進捗状況と今後の見込み</p> <p>2-1 事業の進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 令和元年度末の事業進捗率は事業費ベースで38% (工事34%, 用地85%) となっています。</li> <li>② これまでに、全体延長1,300mのうち約80mを供用しています。</li> </ul> <p>2-2 今後の見込み</p> <p>今後、中川原橋の架け替えを中心に進め、令和9年度の全線供用を目指します。</p>						

### 3 事業を巡る社会経済情勢等の変化

当該路線と一志町中心部を繋ぐ、市道高野田尻線は平成 20 年に踏切区間の拡幅工事を終え、一志出家線までの区間が全線改良されました。このことから交通量が増大し、当該事業の必要性はますます高まっています。

また、庄田工業団地、久居工業団地など一志出家線の周辺には工業団地が複数立地するとともに、当該道路の隣接地に JA の事業所が令和 2 年度に新設される予定であり、利用者の増加が見込まれるとともに、周辺道路を含めた安全性向上へのニーズからも、本事業の必要性は一層高まっております。

### 4 事業採択時の費用対効果分析の要因の変化、地元意向の変化等

#### 4-1 費用対効果分析

##### ① 前回評価時の費用対効果分析の結果

【前回評価時】(平成 27 年時)	
総費用 (C)	25.0 億円
総便益 (B)	33.9 億円
費用便益比 (B/C)	1.4

##### ② 費用対効果分析の結果

費用便益比 (B/C)	総費用 (C)	総便益 (B)
【事業全体】	(残事業) / (事業全体)	(残事業) / (事業全体)
1.1	18.2 億円 / 36.2 億円	41.0 / 41.0 億円
【残事業】	事業費 : 17.8 億円 / 35.8 億円	走行時間短縮便益 : 36.8 / 36.8 億円
2.2	維持管理費 : 0.4 億円 / 0.4 億円	走行経費減少便益 : 4.2 / 4.2 億円
		交通事故減少便益 : 0.02 / 0.02 億円

##### ③ 感度分析の結果

【事業全体】	【残事業】
交通量 : B/C = 1.1~1.2 (±10%)	交通量 : B/C = 2.1~2.4 (±10%)
事業費 : B/C = 1.1~1.2 (±10%)	事業費 : B/C = 2.0~2.5 (±10%)
事業期間 : B/C = 1.0~1.2 (±20%)	事業期間 : B/C = 2.1~2.4 (±20%)

※出典：費用便益分析マニュアル(平成 30 年 2 月 国土交通省 道路局 都市局)

#### 4-2 その他の効果

##### ① 通学路の確保

- ・歩行者、自転車の安全確保

##### ② 救急医療施設へのアクセス向上

- ・高野地区から第二次救急医療施設(三重中央医療センター、榑原温泉病院)への時間短縮

#### 4-3 地元意向

当該区間は一志町住民にとって生活を支える重要な生活道路ですが、幅員が狭小であるため早期供用を強く要望されています。また、津市からも県政への要望として、一志出家線(中川原橋)の早期整備の推進が要望されています。

### 5 コスト削減の可能性や代替案立案の可能性

#### 5-1 コスト削減

「耐候性鋼材の使用」と「張コンクリート工の施工」によりコストの削減を図ります。

#### 5-2 代替案

中川原橋は老朽化のため、橋の架替が必要です。また、現在までに用地買収が 85% 進んでいるため、代替案はありません。

### 再評価の経緯

平成 27 年度の再評価においては、事業継続の妥当性が認められたことから、事業継続を了承されています。

### 事業主体の対応方針

三重県公共事業再評価実施要綱第 3 条の視点により再評価を行った結果、同要綱第 5 条第 1 項に該当すると判断されるため当事業を継続したいと考えています。